# SC (スペシフィック・カイロプラクター) 髙橋のつぶやき

どうしたら患者さんたちは気づいてくれるのだろうか?

何で分かってもらえないのだろう?

分かる人が少ないのは何故なのか?

どれだけ説明すれば分かってもらえるのだろう?

この施術を受けて身体が改善されたにも関わらず、相変わらず西洋医学依存症からは解放 されない。

「自分の身体は自分で治す」ことを理解しようとしないのは何故なのか? こんなつぶやきがこれから書く文章の動機になっています。

### 大きなテーマ

【どうして生きていられるのか?】 ·········· p	2. (
【病院で病気が治るのか?】 p	5. נ
【薬は毒らしい】 p	6. נ
【生命エネルギー】p	.7
【先天的知能】 p	8. (
【身体は自分が治す】 p	.11
【自己管理が肝要】p	.17
【ストレス】r	.18

今日は、上部頸椎専門のカイロプラクター髙橋祐一郎です。

これからつぶやく話は、基本的にはカイロプラクティック哲学の 33 の根本原理とスピリチュアルの本などをベースにしています。スピリチュアルの本は沢山ありますが、特に参考にしているのは、五井昌久氏の本とラマナ・マハルシ氏、及びニサルガダッタ・マハラジ氏の本です。

ここで私の精神的支えとなってくれている恩師を紹介しておきます。

沢山いますがその中の主な方々です。

古い順に、

- · 五井昌久師
- 賀来史同師

- 賀来愛子師
- ・B.J.パーマー師
- ・Dr.E.L.クラウダー師
- 中村天風師
- ・シュリー・ラマナ・マハルシ師
- ・ニサルガダッタ・マハラジ師

それでは始めます。

# 【どうして生きていられるのか?】

皆さんは生きています。 どうして生きていられるのですか? どうして成長できたのですか?

考えたことがありますか?

食事をしたからだけではありませんよ。 食べることも要因ですが、その食事をするという行為ができるのは何故ですか?

それでは他の質問をします。

皆さんは身体を持っています。そして動いています。

誰がこの身体を動かしているのですか? コントロールしているのですか?

お医者さんが皆さんの身体を動かしているのですか?

クスリが動かしているのですか?

当然ですが医師でもなければ、クスリでもありません。

病気でないときには自分の身体は全て自分がコントロールしているのに、です。

何故、病気になると他人の身体を動かすことのできない医師たちが皆さんの身体をクスリ でコントロールするのですか?

可笑しくないですか? 変だと思いませんか?

#### 考えて下さい!

なかには、皆さんの身体はみなさんがやっていると言う人もいると思うのですが、ある意味 その通りですが、では想像してください。 皆さんが赤ちゃんだったときは、あんなに小さかった身体が、今はこんなに立派な身体になっています。

皆さんはどのようにしてこのような立派な身体を創ったのですか? そして今でも身体を維持していますが、どうして身体を維持することができているのですか? 皆さんが"自分"でやっているのですか?

考えてください! 答えは出ましたか?

物を見たり、話をしたり、音を聞いたり、匂いを嗅いだり、そのような凄いことができるのは何故でしょうか?

指を動かす事だけでも凄いことなのに、身体を動かしたり、食べ物を噛んだり、飲み込んだり、何故、そのようにいろいろなことができるのですか?

どのようにして、食べたものを消化して、吸収して、血となり肉となり、骨となり、そして、いらないものを排泄して、今現在もこの身体を維持していられるのですか?

そのような凄いことを普通にできているのはどうしてなのですか?

この瞬間々の活動を誰がしてくれているのでしょう? クスリがするのですか?

それとも、皆さんが考えて、すべてをしているのですか? 自分で動かしているという人に 伺いますが、自分の身体ならば、身体全身をすべて管理して動かすことができるのではない でしょうか?

しつこいのですが、再び伺います。

皆さんがすべてのことを、いちいち考えてコントロールしているのですか?

何回も同じようなことを繰り返して尋ねるのは、【考えてほしいから】です。

普通の人たちは、生まれてから自然に身体を動かして、何も考えないで生きていますが、身体の中では想像を絶するような際立った知能が働いているのです。

この知能の働きが当たり前すぎて、誰も凄いと思わないのです。

【何故・どうして】動いていられるのかという根本の原理を知らないのです。

ここで考えてもらいたいのですが、本当に今の身体だけが、今の思考する脳が、皆さん自身 なのでしょうか? 普通は気づかないことです。 この事にも気づいてください!

実は、皆さんの身体は「**皆さん自身**」が動かしているのです。

どういうことかと言うことをこれから説明していきます。

この本質を知るのと知らないのとでは、長い人生において大きな違いが出ると思います。 おそらく、知ることによって一生の人生を安心して暮らせるようになるでしょう。 逆に知らないことで不安や恐怖を抱き、いろいろな情報に惑わされて暗いつらい人生にし てしまうでしょう。

何故かというと、皆さんはご自分の【実体】について常日頃考えていないからです。 ご自分の内部に意識を向けていないからです。

一般的には皆さんの意識は外側の出来事に興味があり、外の方に向いています。 ですから、皆さんは内側の実体を自覚していないために、【実体】に比べれば、比べものに ならないほど劣る、能力のない他人に依存しすぎてしまうのです。

【実体】については、今までも多くの聖人や賢者によって伝えられているのですが、社会に 広く普及していないし、なかなか教わる機会がないのが実状です。

神や仏は見たり触れたりできません。しかしながら、大昔から信仰の対象になっています。 同じように皆さんの【実体】も目に見えないし、触ることもできません。ですから、ほとん どの人たちは目に見えて、触れることもでき、匂いがあって、感覚のある現在の身体だけが 「自分」だと思ってしまうのです

実体については聖者たちと違った説明の仕方になりますが意味合いは同じです。 ちなみに四国お遍路の人たちは「同行二人」といって、弘法大師と一緒に巡礼されると言われます。

私も【同行二人】と言わせてもらえれば、一人の身体の中に二人がいて、そのうちの一人は 肉体の人間で、もう一人は目に見えない【実体】のことだと解釈しました。 長い人生を目に見えない実体と共に生きていくと言うことです。

今考えている方の頭脳をカイロプラクティックでは「後天的知能」と言います。生まれてから培う自分です。一般的には「自我・エゴ」、シュリー・ラマナ・マハルシ氏はこれらをまとめて「私という想念」と言われています。

このようなことは知らなくても生きていられるのですが、知った方がよりよい人生を送れ

るようになると、私は確信しています。

私も生まれてから 40 年以上も知らなかったのです。西洋医学の基礎を学んでも、東洋医学をかじっても、宗教やスピリチュアルの本を読んでも、そんなことを教えているモノはないし、それで知ることができませんでした。長年生きていても分からなかったのです。

それでも、おぼろげながら、どうして生きていられるのかと考えたこともあったような気が しますが、ほとんど記憶にないほどです。考えても分からなかったからでしょう。深く追求 することをしませんでした。

ところが、42歳の時に上部頸椎専門カイロプラクティックの賀来カイロプラクティック・スクールに入って、カイロプラクティックの33の根本原理という哲学を習って、この生命の根本的な事実を知らされたのでした。

このことを知ったことでいろいろなことが分かってきました。 そして、西洋医学の治療も、 かなりの部分で必要がないことが分かってきました。

# 【病院で病気をなおせるのか?】

病院で病気をなおせるのか? このことを真剣に考えてください。

特に長年の間、病院へ通って病気の治療を受けていても、病気が治らない人たちは考えてみ てはいかがですか?

「医療の 9 割は必要がない」と言われる先生方もいます。 必要な 1 割とは救急や手術などの命に関わるものだそうです。 確かに、命にかかわるようなものには必要です。

しかし、特殊な例は除いて、一般的な慢性病などで 10 年も 20 年もクスリを飲み続けていてもクスリを止められないでいて、「慢性病」だからしょうがない! などと言っていて、それでいいのでしょうか?

そのように思っている人たちは何かが欠けているかもしれません。

もしかしたら、例えば自分に甘過ぎるかもしれません。

まずは自分の生活を見直すことから初めてみたらどうでしょうか?

どこかに改めなければいけないところがあるはずです。

ところで、皆さんは病院や医師に対して過大評価をしていませんか?

クスリを飲み続けているということは、皆さんの病気をクスリが治せないということの証明になりませんか? そう思いませんか?

病気が治ればクスリは要らないのです。

つまり病院ではほとんどの病気、特に慢性病は治せないと言えるのです。

そうではないですか?

先ほども紹介しましたが、多くの医師の方々がそのようなことを執筆されています。

しかしながら、西洋医学が危険であると書かれている本もありますが、そのような本を読まれても、多くの皆さんはご自分の身体に対しての自信がないので、"そうかな!?"と思っても、何かあれば病院を頼ってしまうのです。

つまり、ご自分の【本体・実体】を知らないからなのです。

### 【薬は毒!らしい】

クスリは毒だということです。内海聡医師の書かれた「断薬のススメ」(KK ベストセラーズ)の表紙にはっきり書かれています。他にも多くの医師の方々が毒だということを言われています。そのように言われても製造している側から反論がでないし、また裁判にもかけないということは事実なのでしょう。

皆さん、毒だということを知っていましたか? クスリを飲んでいる人たちは毎日毒を飲んでいることになるのですよ! それも、病気を治癒させることができないクスリで、です。 本当にそれでいいのですか?

人間の身体の構造は昔も今もほとんど同じですが、昔は西洋医学もなく、一般の庶民は病気 になっても病院にも行けず、医者にもかかれず、それでも生き延びてきました。

現代は、病院と医師が生活環境のすぐ近くにあるので、少し体調が悪くなるとすぐに病院を 訪れて受診をしますが、皆さんが信頼しているほど、本当に病院や医師が皆さんの身体を健 康にしてくれているのでしょうか?

私の患者さんたちの話を聞いても、例えば腰痛に対して、レントゲンや CT や MRI などで 視覚的に見てはくれますが、見てくれてもそこを治してはくれないようです。よほど悪けれ ば手術をしてくれますが、一般的にやってくれることは、クスリを出す、湿布をくれる、注 射をしてくれるということです。牽引をしてくれたり、リハビリなどもしてくれますが根本 的な治療にはならないようです。

クスリや湿布そしてブロック注射などは、単に痛みを抑えることしかしていないのです。

話がそれましたが、誰が身体を支配しているのか? これを知ることは、本当に大切な基本なのです。

西洋医学でも他の治療法でも基本となる根幹が抜けているのです。

その根幹となる哲学を徹底して遵守し、追究しているのが日本上部頚椎カイロプラクティック協会(JSCA)です。

話を戻しますが、**私たちが動けるのは脳と神経系統があるから**なのです。これらによって先程の質問したすべてのことができるのです。

なんだ、そんなことか、と知ったかぶりをする人もいると思います。

しかし、よく考えてください。

死んだばかりの人にも脳と神経系統は身体の中に残っています。 では、死んだ人は何故何もできなくなってしまうのですか? どうしてでしょうか? つまり、脳と神経系統だけでは身体は動けないのです。

電気器具が動くのは何故ですか? 器具と電線だけでは動かないのです。そうです。電気エネルギーが電線を流れて器具を動かすのです

ここも重要なポイントの一つです。

私たちの身体が動くのは、生きている間は生命エネルギーが脳と神経系統を通して全身に 流れているからです。

電流の流れが妨害されれば電気器具に不具合が出ます。

身体も同じです。 生命エネルギーの流れに伝達妨害が起これば、その部分の器官などが不 具合を起こすのです。 例えば、心臓に行く生命エネルギーが低下すれば心臓に異常が起き るのです。

### 【生命エネルギー】

ほとんどすべての人たちは、生きているために必要な生命エネルギーなどというモノを普 段は気にかけずに、当たり前に生きています。ですが、その気にもしない【ソレ】が本当は 大変重要なのです。

生命エネルギーが身体を動かしている動力なのです。

死ぬとソレが流れなくなるので、何もできなくなるのです。

生命エネルギーはただ漠然とあるのではありません。

宇宙にはエネルギーが満ちています。

その宇宙のエネルギーを伝達する中継所というか、電気でいえば変電所にあたるような モノがあるのです。その生命エネルギーを創る元をカイロプラクティックでは先天的知能・ イネイトインテリジェンスといいます。 普段私たちは「イネイト」と言っています。

#### 【先天的知能・イネイトインテリジェンス】

先天的知能・イネイト! さらに考えてもいないでしょう。生命エネルギーを創る元ですから、 最重要ということです。 実は目に見えない本当の自分、つまり【実体】のことです。

普通の人たちは気がついていない、真実の自分、真実の実体です。

【真実の自分】ですから絶対に肉体の自分を傷つけるようなことはしません。 愛そのものなのです。

ちなみに、インドの聖者、シュリー・ラマナ・マハルシは【真我】と言われています。少し イネイトとはニュアンスが違いますが、実体であることは同じです。

イネイトは精子と卵子が合体したときに宿ります。そして、母親の母体を借りて私たちの身体の細胞を創りながら身体を成長させます。

私たちの身体は生まれる準備ができたところでこの世に出て来るのです。

生まれてからは、イネイトが脳で宇宙のエネルギーを生命エネルギーに変換して製造します。 イネイトによって造られた生命エネルギーは常に 100%あります。減ることも増えることもありません。

イネイトは製造した生命エネルギーを、神経系統を通して全身に供給しながら、成人で約 60 兆といわれるほどの細胞を創り上げていくのです。

皆さんの身体は「イネイトが創り上げて、その創り上げたイネイト自身の身体を、死ぬまで イネイトが細胞を創り替えながら、壊れたところを修復したりして維持しているのです。」 最初の頃の質問の答えがこれなのです。

先にも述べましたが、身体の中では想像できないことをイネイトは実行しているのです。

皆さんの身体は、実は「イネイトが支配している、イネイトの身体」なのです。

皆さんの頭脳ではないし、もちろんお医者さんではないのです!

皆さんのイネイトはどんなに才能のある頭の良い人よりも優れているのです!凄いのです!

皆さんの頭脳が凄いのではありません。

とにかく、皆さんの内在の叡智であるイネイトが凄いのです。 私たち肉体人間の頭脳とは 【次元】が違うのです。

全知全能なのです。

皆さんの身体の中には全知全能のイネイトが働いてくれているのです。

#### ☆皆さん自身の実体を信じて下さい!

どんなに優れた人でも細胞を作れないのです。

人間の知能はイネイトからみれば、どんなに頭の良い人でも悪い人でも、五十歩百歩、すな わちドングリの背比べでしかないのです。 イネイトと比較すれば雲泥の差。月と鼈、それ 以上に違うのです。

今考える事ができているその脳も、イネイトによって創られたのです。

私たちは自分自身の中に次元の違う凄い叡智が内在しているということを実感するべきだと、私はつくづく思います。

イネイトに気づけば、イネイトに身体のことを任せるようになります。

ですから、私はイネイトに任せるようにしています。 つまり"自然治癒力"と言われるモノに任せるのです。

これがベストだと考えています。

イネイトを確信できれば身体に対する不安がなくなるのです。

B.J.パーマー博士は「カイロプラクティック・哲学・科学・芸術(賀来史同監訳、十菱麟訳・エンタープライズ)」の中で、「『神の国は汝らの内にあり』」と言われています。「確かにその通りです。先天的知能こそは、かの偉大な『われはありてあるものなり』です。イネイトこそ、ありとあらゆるものの内的本源であります。」と言われています。

大多数の人たちは自分の身体が内在の叡智であるイネイトのモノだと聞けば混乱するか、 「何を言っているのだ」と思うでしょう。

冷静に考えてください。

あなたの頭脳では人間の細胞を作れません。 細胞一つでさえも作れないのです。

イネイトは、あなたの身体を創り上げ、生命エネルギーを死ぬまで 100% 造り続けます。増えることも減ることもありません。

イネイトは全身の細胞を創り変えながら、生命エネルギーを脳から神経系統を通じて全身の細胞に供給し、身体を機能させているのです。 また、人間が意識的に身体を動かせるようにしてくれているのです。

しかも、傷害を受けた全ての細胞、組織、器官を修復してくれるのです。

西洋医学では、例えば打撲を受けた患部を「炎症」といって消炎鎮痛剤を使いますが、炎症 は患部を治癒させる過程なのです。

炎症も生命エネルギーを正常に伝達させて自然にしていれば、時間がたてば肉体の限界を 超えていなければ自然治癒していくのです。

生命エネルギーが、身体のすべての活動を可能にさせているのです。それですから、私たち

は考えることができて、見たり、聞いたり、話したり、感じたり、身体を動かす事もできる のです。また、病気を治癒させたり、身体の修復もしてくれているのです。

逆に言えば、つまり、脳からの生命エネルギーが神経系統を通して流れなければどんなに努力しても何もできないのです。

神経系統に問題が起きれば、いかに偉い学者や科(化)学者、医学者であろうと、他人の指 どころか、自分の指一本さえも動かすこともできないのです。

ほとんどの人間はこの基本、この重大な事実に気づかずに生活しています。

どんなに立派な素晴らしい物を発見したり、作ったりできても、それができることを可能に しているのは、イネイトの生命エネルギーが身体を流れるからなのです。

B.J.パーマー博士は言われています。「人間が自分で思っているあらゆる考えは、イネイトから大ざっぱに盗み出したものです。」

「イネイトは知識と力の座であるばかりでなく、無尽蔵の富の宝庫であることを忘れないようにして下さい。|

般若心経でも、「色即是空、空即是色」、つまり現象界は固定的実体がなく空であり、逆に固 定的実体はないが、空であることで万物を包括している、と言うことです。

このことを肉体に当てはめると、目に見える肉体は固定的実体ではなく、目に見えないイネイトがすべてを包括している、と言えるのです。

この一番大事な大元の基本を考えずに、人間は自分で何でもできるとおもいこんでいます。 知識のある人たち、勉強をした人たち、そして特に唯物主義者たちはこの思いが強いのでは ないでしょうか?

あなたがどんなに反論しても、その反論する力を生みだす原点は【イネイトであり、生命エネルギー】なのです。 これなくして、考えるどころか生きることもできないのです。 何でもできると思っている人たちも、このことをよく考えて下さい。

基本に返って考えれば分かるとおり、この生命エネルギーが正常に全身に流れていれば、身体は正常に機能できるのです。

しかし、神経伝達の妨害が起きると、その神経支配の領域の機能が低下します。そして症状が発生するのです。

神経伝達の妨害が自律神経に影響すれば、その支配領域に症状が出るのです。

先ほども書きましたが、例えば、心臓を動かしている神経に妨害が起きれば、心臓の機能が落ちるのです。肺でも腎臓でも胃でも腸でもどこでも、生命エネルギーが正常に伝達されなければ、その部位の機能が低下します。

また、体幹や四肢の神経伝達の妨害も、妨害されたその部位に影響が出るのです。例えば、 痛みであったり、しびれであったり、ひどく妨害されれば機能が麻痺してしまうのです。 極端な例では、事故で脊髄損傷を起こしてしまえば、程度の差はありますが、その下部組織 は麻痺して機能不全に陥るのです。

# 【自分の身体は自分で治す】

西洋医学では、それぞれに病名をつけますが、上部頸椎カイロプラクティックでは、病名病気、症状にとらわれることなく、生命エネルギーの伝達妨害の原因だけをアジャストメントして、生命エネルギーを正常に伝達できるようにするのです。

そして、伝達妨害がなくなるところから、イネイトの身体はイネイト自らが治していくのです。

寿命があれば、あるいは肉体の限界を超えていなければ、イネイトは時間をかけて自然に身体を修復するのです。

スペシフィック・カイロプラクターは人の身体を「治してあげる」ことはできないのです。 上部頸椎のサブラクセイション(神経伝達妨害)を取り除くことだけしかできないのです。

「自分の身体は自分が治す」このことをしっかりとつかんで下さい。

何度も繰り返しますが、人間は細胞を創ることができません。 他人の皮膚のたった一つのすり傷さえも治せないのです。

皆さんは傷が自然に治ることを知っているはずです。その傷を治すのと同じ凄い能力が自 分の身体全体を治すのですが、その凄い能力のことを知らないのです。 その能力に気づい ていないのです。あるいは、理解していないのです。【気づいて下さい!理解して下さい!】

そもそも、それ以前に、傷が治ることを凄いと思う人は少ないのではないでしょうか?

内臓が悪い人の臓器の細胞を創り、内臓を元のように治せる人はいないはずです。 近年は科学が発達して iPS 細胞というものを増殖して、臓器に移植するそうですが、移植は できてもその後のことは、先天的知能・イネイトが生命エネルギーを使って臓器を治してい くのです。 成功するか否かは先天的知能次第なのです。

イネイトに生かされている「人間の先生」ができることではありません。

すべては「自分・イネイト」なのです。

何はさておき、「自分の先天的知能・イネイトの素晴らしさ、自分の身体のことに関して全 知全能」に気づいて、常に意識して下さい。

「人間の先生」は他人の身体を手術して、切ったり縫ったりすることはできても、先ほどから説明しているとおり、傷を治すことはできません。

血圧や血糖、その他のことも治すことはできません。クスリを使って数値を管理してコントロールすることはできても、その数値をクスリを使わずに正常に保つことはできないのです。

また、クスリは神経伝達を正常に戻すことはできません。

ですから、身体は本来の健康状態にはなれないのです。

大多数の人たちたちは、病気はお医者さんが治してくれると信じているようです。

いつからこのような信仰が横行し始めたのでしょうか?

「信仰」と書いたのは、ロバート・メンデルソン医師の著書「医者が患者をだますとき」(草思社)のなかで"現代医学教"と断じて「"現代医学教"は生と死、それに肉体に生じるあらゆる生理的変化という、最も不可解な現象をあつかっていることになる。」と記述されていますが、要するに、現代社会の人間たちは気づかないうちに、いつの間にか現代医学教の信仰をしていると言われているのです。

人間は自分の肉体の神秘的な部分を知らないために、少しのことでも不安になってしまい、 そして何かにすがりたくなる。それに対して医学では科学的にいろいろ論証をすることで、 人々を引きつけることができる。

昔のことは全く分からないのですが、大昔は祈祷などをして病魔を撃退していたということを聞いたことがあるのですが、その後、漢方薬や民間療法で病気を治癒させていたのでしょうか?

そういう方法で病気が治るのであれば、それらの方法がもっと一般に広がっているはずで はありませんか?

現代では西洋医学が主流になって病気の治療をしているのですが、本当に病気を治癒させているのでしょうか?

人々のためにしていることが、逆に悪く働くことも多々あります。例えば、レイチェル・カーソン著「沈黙の春」にもあるように、作物を害虫から守るために作られた DDT や農薬によって本来の生態系が壊されてしまうようなこともあるわけです。

人体においても化学物質は体内の生態系のバランスを崩す作用で、様々な症状を引き起こす可能性は否めません。

他のところでも書いているのですが、クスリで病気が治せるのなら病気はすでになくなっているはずです。

元新潟大学大学院教授・故安保徹医師の「病気にならない免疫生活のすすめ」(中経文庫) には「薬で病気が治るのだったら、こんなに楽なことはありません。」と書かれています。

西洋医薬や漢方薬で病気が治ればそれ以上別のクスリは要らないのです。それなのに、次か ら次へと新薬が作られています。

以前から疑問に思うことは、次から次へと新薬が出るということは、古いクスリを飲んでいた人たちは、何のためにそれまでのクスリを飲んでいたのでしょうか?

新薬を作らなければならないということは、安保先生の言われることが正しいことを証明 しているようなものです。つまり、それまでのクスリは効果が薄かったのか、全く効果がな かったからではないでしょうか?

ガンの治療に関しても、次から次へと新しい方法が開発されていますが、どれが正しい治療 法なのでしょうか?

クスリのことと同じように、それまでの治療法の効果が薄かったのか、なかったのか? 西洋医学の治療法は、どれもこれも手を替え品を替え、目先を変えて変化し続けています。 治療法が変化するということは、正しい治療法が定まらないということになりませんか?

皆さんはどのように判断するのでしょうか? 考えてみて下さい。

ご自分で判断をしないで、今のまま流されていて納得されるのでしょうか?

何も考えないで、「溺れる者は藁をもつかむ」のたとえのように、とにかく何かにすがりたい、頼りたい、ということで良いのですか?

今まで長い間受けていた治療に効果がなくても、それを考えないで同じ事を繰り返すので すか?

ちなみに、船瀬俊介氏の「病院で殺される」(三五館)には、「よくぞ誤魔化し続けてくれま した!」と書かれています。

内海聡医師は「医学不要論」(三五館)という本を出されています。

今までと同じようなことを繰り返す人たちはどこかで思考の仕方を変えなければ、長い人 生のなかで沢山の不利益を避けられないことになるかも知れません?

他人に依存しすぎているのではないでしょうか?

騙され易い人になっていませんか?

岡本裕医師著「9割の病気は自分で治せる」(中経文庫)で言われているように「おいしい

患者さん?」になっていませんか?

よく考えてみてはどうでしょうか?

再び繰り返しますが、病気が治ったらどのようなクスリでも、クスリは必要ないはずです。 健康なときにはクスリは飲まないのです。

西洋医薬で、例えば、血圧のクスリに関してよく聞くのですが、「血圧のクスリは一生飲み 続けて下さい」と言われるそうです。

これについて皆さんは疑問を持たないのでしょうか?

一生飲まなければいけないということは、「高血圧を治さない」と言われているということ になりませんか?

言われたその時点で「高血圧は治しません」と宣言されたようなものだと私には思えてしまいます。

先ほども言いましたが「血圧が正常に治ったらクスリは必要なくなるのです。」

血圧だけではありません。他の慢性病も同じです。

血圧が上がる理由はさまざまにあります。一番の原因と思われるのは普段の生活における 自己管理が為されていないからです。

自己管理は健康な身体を維持するためには、必要不可欠です。

これはすべてに通じます。

例えば、たばこの吸いすぎ、暴飲暴食、生活の不規則、睡眠不足、運動不足、激しい労働、 食事の影響、精神的ストレス、クスリの副作用、等々。

血圧も含めて、他の検査で出る異常な数値も、身体が出している危険信号です。つまり上記のような事を改善してくれと、身体が数値で教えてくれているのです。

ところが、西洋医学では生活の改善よりも先にクスリで数値を管理しようとするのです。 椎間板ヘルニアに痛み止めを出して痛みを抑えるのと同じです。痛み止めでは椎間板ヘル ニアの患部を治すことはできないのです。

同じように、高血圧を治すのではなく、クスリで数値を上がらないように抑えてしまうので す

どの「治療」と言われることでも、抑えるようなことをしてしまうと危険信号を無視させて しまうのです。

痛くないから動いて負担をかけてしまいます。血圧も高くないから無理して仕事をしてしまうのです。 そうすると、悪化させてしまい、血圧の方で言えば、脳疾患や心臓疾患を発症してしまうのです。

とは言え、クスリを出す方だけが問われるわけではありません。一方の患者さん側も改善する努力が足りないのです。中にはまったくしない人たちもいるようです。

クスリを飲む人も、自己管理をしない人も若いときには体力もあるし、自浄作用もあるので、

多くの場合はすぐに深刻な問題が起きない人たちもいますが、高齢になると体力は低下し、 自浄作用も弱まりますから身体にいろいろ不調和が出てきます。そうなると、大変つらい人 生が待っています。若いときにはそんなことは気にしないのですが、それが結果的に病気に つながるのです。

自浄作用も年齢相応にあるのですが、神経伝達の妨害がその作用を低下させてしまいます。 病気になってからでは遅いこともあります。昔から「転ばぬ先の杖」という言い伝えがある ように、若いときから老後に備えての毎日の生活習慣が重要なのです。

体力があってまったく健康に生きていて豪放磊落に我が世の春を満喫していても、ある瞬間から脳卒中や心筋梗塞を発病して、中には半身不随になってしまうことがあるのです。

こうなってから病院通いが始まりリハビリテーションを続けながらクスリを服用して、なんとか元に戻ろうと努力をしますが、なかなか元通りにはなりません。発病以前は元気だっただけに、なおさら辛い思いをしてしまいます。

元に戻る努力をしても、クスリに依存しすぎると、その副作用で自然の治癒過程を妨害して しまう可能性がでてしまいます。

クスリには毒性があり、すべてのクスリに副作用(毒が影響するなら毒作用?)が起きる可能性があると公表されています。医師の方々の中には、体温を低下させ、免疫力を落としてしまい、加えて交感神経を緊張させて自律神経のバランスを崩す作用があると忠告されています。自律神経のバランスが崩れれば体調を正常に管理できなくなるのです。ですから、さらに病人状態に陥るのです。

このようなことも真剣に考えてほしいと思います。

西洋医学に依存している人たちは、病気は医師が治してくれると深く信じているのです。 中には血圧が110まで下がっても担当医にクスリを「やめないで」と言われて飲んでいる 人もいます。

あまりにも血圧を下げすぎれば脳に送る血流が悪くなるのでフラつきやメマイがでます。 また、脳の働きが悪くなり認知症になるとも言われています。

「現代では医者が病気をつくっているのだ。現代の多くの病気は、かかるのではなく、医者がつくりだしているといっても過言ではない。」と「開業医の嘘、大病院の罠」(光文社)のなかで富家孝医師が言われています。

とにかく、多くの人たちは自分の身体に自信がないので、不安で、不安で仕方がないのです。 少し体調を悪くすると病院に駆け込み何とかしてもらおうとします。些細なことでも何か あるとすぐに救急車を呼ぶ人たちもいるようです。

いずれにしても基本を知らないわけです。それに加えて、日常においての自己管理をしっかりしていないからとも思われます。

「他人は他人の身体を治すことができないのです。」 「自分の身体は自分で治す。」これが 基本です。 上部頸椎カイロプラクティックは単純に頸椎の1カ所だけを調整する方法です。 ただ、人々は単純だと心配になるのです。複雑に治療をしてもらうことで安心してしまうのです。

身体に関しては、本当はシンプル・イズ・ベスト、つまり単純が一番なのです。

アジャストメントという単純なことを受けた後は、身体の中ではイネイトによって他人に はできない複雑なことが行われるのです。

クスリでもそうですが、症状を緩和させて楽にすることはできても、根本的に治癒させることはできないのです。

症状を緩和させ楽にはなっても、そのことで危険信号を無視させてしまう事も多々あります。

気を付けなければいけないことです。

普通、大多数の人たちは自分の身体を創り上げた「真の自分・イネイト」のことを知らないから、「生命エネルギー」のことを知らないから自信が持てないのです。

それと、自己管理をしっかりしているという自覚がないから不安になるのです。

イネイトや生命エネルギーのことを、カイロプラクティックを通じて知ることができた私はつくづく幸運だと思うのです。「私の身体は肉体の限界を超えなければイネイトが治す、また寿命までは、私のイネイトが治す。生命エネルギー・自然治癒力が治すのだ!」と自信を持つことができたのです。

イネイトが治せる限界を超えるとは、つまり肉体の限界というのは、例えば交通事故などで、 骨や肉体に大きな損傷を被ったときなどをいいます。

痛みに関しても同じです。

痛み止め、鎮痛剤、ブロック注射、痛み止めの入った湿布、どれも痛いところを治癒させていません。字の通り「痛み止め」です。痛みは脳が知覚するのです。先ほど羅列したクスリはすべて、脳が痛みを知覚する部分を感じなくするように、痛みを抑えているだけです。症状を緩和させるだけのことを「治療」といえるのでしょうか?「治す」といえるのでしょうか?

広辞苑には、「治療」は病気やけがを「なおす」こと。と記載されています。 病気やけがを「緩和」させること、「楽」にすることとは書かれていません。 責めるのではないのですが、おそらくこの違いに編集者も気がつかなかったのでしょう?

肉体の限界を超えた部位に関しては手術も必要なこともありますが、その後のことは身体

が本来持っている自然治癒力が治すのです。

\*ここで中村天風氏のことを書かせてもらいます。

天風氏は肺結核にかかり、当時、最高権威といわれた北里柴三郎博士の治療を受けても治らず、渡米して医学を学ぶ。ロンドン、フランス、ドイツと移動して病を治そうとしたが、病状が悪化し、帰国を決心して、船旅の途中でヨガの聖人に巡り会い、ヒマラヤ山脈のカンチェンジュンガに入り厳しい修行をして自然の叡智に気づき、病も癒え、人間の思考を大自然に同調させることで、人間本来の生命の力を得るという体験をした。ということです。まさに自分の身体を自分で治した典型的な実例です。

\*「自然の叡智」「人間本来の生命の力」に【気づいてください!】ご自分の中にあるのです。

# 【自己管理】

何度も繰り返しますが、自己管理も重要です。

病気を治癒させるのは、病気になった本人がすることです。

生命エネルギーは自然治癒力を完全に備えています。

生命エネルギーが 100%伝達されていれば治癒する時間も速いのです。

ただし、その人の個人的な考え、生き方が回復に影響を与えることも大いにあります。

イネイトに沿った自然な考え、素直な生き方をしている人ほど、良い条件を備えているのです。

ストレスがあったり、懐疑的な考え方、唯物論的な考え方(見えないモノを信じないような)、 薬物に頼ったり、他のことでも、自己管理に問題のある人ほど、身体の善い働きを妨げてし まうので、負担がかかり治癒する過程を遅くさせてしまいます。

B.J.パーマー博士は"自然は助けを必要としない"と明言しています。その通りです。当然のことですが自然は人間の手が入れば入るほど"自然"ではなくなるのです。

自然の生態系を破壊してしまうのです。

人間においても同じです。人間という、イネイトが創り上げた自然の身体は、自然の生態系 を身体の中では維持しているのです。

その自然の状態のままでいられれば「自然は助けを必要としない」というように、自然に身体を回復させるのです。ただし、肉体の限界や、寿命という限界を超えるまでは。

また、人間の場合は先ほど言いましたが考え方が作用しますから、そこを自分で管理する必要があります。

この「自己管理」は本当に大切なのです。他人は自分のために食事をしたり、水分を摂ったり、運動したり、睡眠をとったり動いてくれません。自分の身体は自分で運営するしか無いのです。

精神的なことでも、いろいろ相談相手にはなってくれますが、最終的には自分が決断して物 事を処理するのです。

人間が不健康になり、病気を発生させるのは原因があるわけです。

その一つが、生命エネルギーの伝達妨害によるものです。脳で造られた生命エネルギーは常に 100%であり、それが神経系統を 100%流れ続けていれば健康を保てるのです。

その不調和の原因となる神経伝達妨害をなくすために、上部頸椎専門のカイロプラクター が存在するのです。

伝達妨害は訓練を受けた精錬されたカイロプラクターによって苦もなく調整してくれます。 苦もなく調整できると書きましたが、ソレを可能にしてくれたのは、苦もなくできるように してくれたのは、何十年もの間、想像もつかないほど途方もなく厳しい研究をして、それを 成し遂げてくれた上部頸椎カイロプラクティックの創始者である、B.J.パーマー博士やそれ に携わった先駆者たちがいてくれたからです。

私たちはこの仕事に従事していて、表現できないほど本当に凄い、素晴らしいことを、人類 のために発見してくれたと思っています。

それで、先生方やスペシフィックカイロプラクティツクについて、賛美と驚嘆をし、常々感謝をしています。

病気になる他の原因として考えられるのは、前述していますが、個人個人の考え方や生き方もあります。

「生き方」、これを自己管理と言い換えてもいいと思います。何度も言いますがそれだけ重要なのです。

## 【ストレス】

上部頸椎に神経伝達の妨害があったとしても、日々の生活において規則正しい生活をしていれば、大きな病気にはならないと思います。逆に、神経伝達の妨害を取り除いてもストレスが強ければ身体の改善も思うように行かないこともあります。

難しいのは精神的なストレスからくる不調和です。昔から言われているように「病は気から」 つまり、ストレスは身体に影響します。その人にとっての弱点を攻撃するのです。例えば、 よく知られているのはストレスによる胃潰瘍です。また最近よく言われるようですが、ガンもその一つに入るようです。医師の方々が言われていますが、甲状腺機能低下症やリュウマチなどにも影響するようです。ということは、他の病気もストレスが原因で起きている可能性があるわけですから、ストレスを解消することが重要になるわけです。

ストレスというのは、その人の思い込みということもあると思うのですが、その抱えている 問題を違った観点から見てみると意外に解消できるかも知れません。

そしてさらに、考えられる原因は、クスリによる副作用やサプリメント、食事やドリンク剤に含まれる化学物質、農薬、除草剤、その他様々な化学物質、環境問題などなど、沢山あります。これらによって不調和を招いているのであれば、自分自身がそれにできるだけ関わらないようにすること、気をつけることを心がける事だと思います。

#### 今回のつぶやきのおわりに:

今までの皆さんの身体に対する常識を、医療という面も含めて、もう一度見直してはどうで しょうか?

上部頸椎カイロプラクティックは病気の診断、治療はまったくしません。

治療をしないのです。

治療をしないのに、ソレを受けられた人たちの症状は改善します。

イネイトが治すのです。

それ故に、皆さん自身の素晴らしい内在の叡智である「先天的知能・イネイト」に気づいて ほしいと思います。

私の解釈の【同行二人】です。 イネイトと肉体人間の共同作業で人生を生きるのです。 イネイトは自分の仕事を完璧に成し遂げます。一方、今の身体を使っているご自分は自己管理の責任を遂行して下さい。

以上、浅学な私のつぶやきですので、及ばない点も多々あると思いますが、その点はご容赦 願います。